

投稿者・・・匿名

原文のまま記載させて頂きました。

■ある在日韓国人女性の手紙

従軍慰安婦問題をめぐる議論に対し、一人の在日韓国人女性（86）が思いを綴った。同問題を論じたテレビ討論会に投稿したもののだが、その手紙をご本人の了解を得て掲載させていただく。何度も何度も書き直し、何度も迷いながら思い切って投降したという。「事実を事実として受け止めてほしい」「大好きな日本の友人に事実を知って欲しい」と遠慮がちに訴える文面からは、戦争を体験した世帯として言わずにおれなかった両親と、植民地支配下あった身でも、今は日本の友人と普通に仲良く暮らしたいという一市民の当たり前の思いがひしひしと伝わってくる

（門田耕作）

女性が投稿したのは、3月31日に放映されたCSテレビ番組「愛川欣也パックインジャーナル」を見て。番組の中で、従軍慰安婦をめぐる阿部首相と下村官房副長官の発言が取り上げられた。阿部首相が3月初め、従軍慰安婦の「強制性を裏付ける証拠はない」と発言したのに対し批判が続出。その火消しのために、河野官房長官談話の継承と元慰安婦への「おわび」をテレビや国会で繰り返していたさなか、今度は首相を補佐するはずの側近、官房副長官が「軍の関与はなかったと私自身は認識」（以上3月28日朝日新聞社説から）と発言、官邸内の姿勢の食い違いが表面化し、問題を再燃させてしまったことについて番組は論じた。レギュラーコメンテーターの元朝日新聞記者田岡俊次氏は「募集した段階で強制があったかという、なかったんじゃないか。戦争の長期化で強姦事件が起きる。地元の売春婦との関係で病気がはびこる、情報が漏れちゃうとか、そういうことがないために女衞が集めてきて業者がやることを認めてやろうかと、軍が認めて協力することとなった。集めた段階で強制があったとかなかったとかは、論点にするには誠に不利な戦場で戦うことになる」「アメリカが下院で首相の公式謝罪を求めて決議するといえるのはけしからん話。自分のところは何をしているんだ。ベトナム戦争中のサイゴンとか、スービック湾海軍基地（フィリピン）の前が売春街で、あれだって軍が関与してると言えるわけで、どこでもそういうことがあるのに、意図的に反日議員のご機嫌を取る為に提案している」となど述べた。

これに対し、評論家樋口恵子氏は、「畑で働いたり、学校で勉強していた人を強制的にひっさらって慰安婦にしたということは、いくらなんでもないと思う。権力を持った側が関与すれば必ず何らかの強制力を持つ。軍が関与していたということは、証拠がいっぱいある。攻める方だったり占領される方だったりしながら、いつも女性の性を踏み付けにしてきたというのは事実。阿部さんは下村さんの言うことに賛成で、子分を使って言わせているのでは、と思っている」と述べている。